

## 今後の瀬戸内海の水環境の在り方懇談会の進め方について

### ○第1回懇談会：9月3日（金）13:00-17:00 航空会館 B101 会議室

1. 各講師からの発表（30分×3名）

①瀬戸内海の水環境に関する現状と課題、今後の目指す方向：九州大学教授 柳哲雄

②陸域からの窒素・リン負荷量削減が沿岸海域の生態系・生物生産(漁業)に及ぼす影響：  
京都大学大学院教授 藤原建紀

③瀬戸内海における水産業の課題と水産業からみた今後の水環境の在り方：  
瀬戸内海水産研究所室長 樽谷賢治

2. 意見交換

### ○第2回懇談会：11月1日（月）13:00-18:00 東京国際フォーラム G502 会議室

1. 各講師からの発表（30分×6名）

④瀬戸内海環境保全特別措置法と今後の瀬戸内海環境保全に関する法の在り方：  
香川大学大学院教授 中山充

⑤瀬戸内海の再生の必要性及びその方策について：  
瀬戸内海環境保全知事・市長会議 富岡寛美

⑥鉄鋼業における総量削減への取組み：社団法人日本鉄鋼連盟主査 正保剛

⑦順応的管理に基づく海の再生プロジェクト - 海域の WiseUse を目指して -：  
国土技術政策総合研究所室長 古川恵太

⑧瀬戸内海 中津干潟を教材とした環境学習の現状と課題：  
NPO 法人水辺に遊ぶ会理事長 足利由紀子

⑨瀬戸内海の観光資源：広島大学准教授 フンク・カロリン

2. 意見交換

### ○第3回懇談会：12月3日（金）13:00-18:00 東京国際フォーラム G502 会議室

1. 各講師からの発表（30分×6名）

⑩瀬戸内海の生態系の現状と底生生態系修復の重要性：広島大学大学院教授 山本民次

⑪瀬戸内海の歴史と文化 一島の海里山と生活文化一：愛知大学大学院教授 印南敏秀

⑫現代美術活動を通じた島の活性化～ベネッセアートサイト直島の活動の軌跡～：  
ベネッセホールディングス直島事業室長 笠原良二

⑬瀬戸内海の環境保全に向けた地区組織活動に関する意見：  
広島県環境保健協会 理事長 近光 章

⑭瀬戸内海の漁業の現状と今後の在り方：  
兵庫県漁業協同組合連合会 代表理事会長 山田 隆義

⑮瀬戸内海の沿岸域管理について：海洋政策研究財団常務理事 寺島紘士

2. 意見交換

### ○第4回懇談会：1月14日（金）14:00-16:30 東京国際フォーラム G502 会議室

1. 今後の瀬戸内海の水環境の在り方に関する論点整理（素案）の説明

2. 意見交換

### ○第5回懇談会：2月7日（月）14:00-16:30 東京国際フォーラム G502 会議室

1. 今後の瀬戸内海の水環境の在り方に関する論点整理（案）の説明

2. 意見交換